

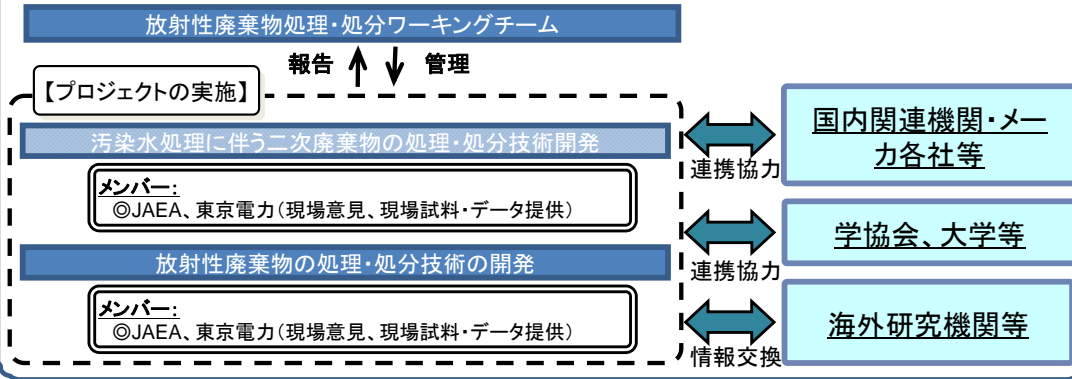
平成24年度主要目標

1. ガレキ等の性状調査等
 - 放射性廃棄物処理・処分の検討にあたり、ガレキ、伐採木等の汚染状況を把握するための分析を実施する。
2. 難測定核種分析技術の開発
 - 分析技術の確立が必要な難測定核種に関する技術調査・検討を実施する。
3. 処理・処分にに関する研究開発基盤整備についての検討
 - 処理・処分にに関する検討が長期に及ぶことを念頭に、計画的に技術開発を遂行していく上で必要な研究開発基盤を整備する。
4. 処理・処分にに関する研究開発計画の策定

平成24年度の実施内容

1. ガレキ等の性状調査等
 - ① ガレキの核種分析(10サンプル程度)
 - 3、4号機のガレキ撤去工事時に試料を採取し、場所毎の核種組成の特徴について検討する。
 - ② 伐採木の核種分析(5サンプル程度)
 - 敷地内線量分布を念頭に試料を採取し、核種組成の違いを考慮する必要性について検討する。
2. 難測定核種分析技術の開発
 - 国内外文献の調査を実施し、難測定核種の分析フロー等の検討を実施する。
3. 処理・処分にに関する研究開発基盤整備についての検討
 - ① 処理・処分にに関する研究開発要素の検討
 - 研究開発計画を策定に資するよう、処理・処分の安全性の見通しを得るために必要な研究開発要素と解決策について現状想定しうる範囲でできるだけ具体的に抽出する。
 - ② 廃棄物データベースの構築に関する検討
 - 得られた研究開発成果や周辺情報を体系的かつ継続的に整理するために必要なデータベースを構築するための検討を行う。
4. 処理・処分にに関する研究開発計画の策定
 - 処理・処分にに関する研究開発計画を策定する(策定に際しては学協会などとの連携を検討)。

実施体制



工程表

項目/月	2012											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. ガレキ等の性状調査	サンプリング計画,分析手法検討			サンプリング			分析	前処理		γ核種分析		
										β核種分析		
										α核種分析		
2. 難測定核種分析技術の開発	分析技術調査・検討											
3. 処理・処分にに関する研究開発基盤整備についての検討	研究開発基盤整備に関する検討											評価
中間まとめ ▲												最終まとめ ▲
4. 処理・処分にに関する研究開発計画の策定	研究開発計画の策定											

(3-2)放射性廃棄物の処理・処分技術の開発(全体計画の概要)

必要性

汚染水処理の二次廃棄物以外の放射性廃棄物として、ガレキや除染廃液等がある。これらについても、汚染水処理に伴う二次廃棄物と同様、従来の原子力発電所で発生していた放射性廃棄物とはその性状が異なることが予想されるため、これらの放射性廃棄物を安全に処理・処分する見通しを得る上で必要な性状調査や技術開発を行う。

実施内容

1. ガレキ等の性状調査等
 - ・ ガレキ・伐採木・土壌等について、処理・処分技術開発に必要な放射性物質の付着状況等の性状を調査する。
2. 解体廃棄物・除染廃液等の性状調査及び廃棄体化技術開発
 - ・ 建屋除染や系統除染により発生する除染廃液及び解体工事に伴い発生する解体廃棄物について、性状調査を行うとともに、既存の処理技術(廃棄体化技術)を基に廃棄体化のための技術開発を行い、廃棄体性能の評価を行う。
3. 既存処分概念の適用性確認及び課題解決
 - ・ 1. 及び2. の成果を基に、既存の処分概念の適用性を確認し、処理・処分に必要な課題の抽出及び課題の解決を行う。
4. 既存処分概念が適用困難な廃棄物の処理・処分技術開発
 - ・ 汚染水処理に伴う二次廃棄物を含めた全ての放射性廃棄物のうち、既存の処分概念適用が困難な廃棄物について、新たな処理・処分技術を開発する。
5. 難測定核種分析技術の開発
 - ・ 分析方法が確立されていない処分安全評価上重要な難測定核種の分析技術を開発する。

実施工程

